

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援			担当部局庁	初等中等教育局	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	教育課程課	課長 常盤木 祐一	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	・「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定) ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」(令和3年1月26日中央教育審議会) ・「特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議審議のまとめ(素案)～多様性を認め合う個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の一環として～」(令和3年7月25日特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議)		
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定分野に特異な才能のある児童生徒は、その才能や認知・発達の特性等がゆえに、学習上・学校生活上の困難を抱えることがあると指摘されていることから、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の一環として、その困難を解消するとともに、個性や才能を伸ばす。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各学校において、学校外とも連携しながら、特定分野に特異な才能のある児童生徒に対するきめ細かな指導・支援が行われるよう、以下の取組を行う。 【取組内容】 ・特異な才能のある児童生徒の理解のための周知・研修の促進 ・特性を把握する手法・プログラム等の情報集約 ・実証研究を通じた実践事例の蓄積						
実施方法	委託・請負						
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	113
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
		計	0	0	0	0	113
	執行額		0	0	0		
	執行率 (%)		-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	-			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	初等中等教育振興事業委託費	-	112	※単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。 要求額のうち、重要政策推進枠:112百万円			
	庁費	-	0.2				
	諸謝金	-	0.2				
	委員等旅費	-	0.1				
	職員旅費	-	0.1				
	計	-	113				

活動内容 (アクティビティ)	特定分野に特異な才能のある児童生徒に関する教職員等の理解を醸成するため、教職員等が児童生徒の特性や効果的な支援の在り方について学習したり、教職員同士が課題認識を共有したりできる研修パッケージを開発する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	教職員等を対象とする研修に知見を有する団体において研修パッケージの開発を行う。	委託件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	-	1
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	研修パッケージの開発に係る執行額 ／委託件数			単位当たりコスト		-	-	-	-
				計算式	/	-	-	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 年度
	特定分野に特異な才能のある児童生徒に関する教職員等の理解の醸成に資する研修パッケージを開発する。	開発された研修パッケージに盛り込まれる研修動画の種類	成果実績	種類	-	-	-	-	-
			目標値	種類	-	-	-	2	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	委託事業者からの報告書								
活動内容 (アクティビティ)	特定分野に特異な才能のある児童生徒に対して、学校関係者及び学校外の機関が適切な支援を行えるようにするため、特性を把握するための手法やプログラム等について情報の収集及び共有を行う。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	特異な才能のある子供たちの特性を把握するための手法やプログラム等の情報を収集する。	委託件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	-	1
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	特異な才能のある児童生徒の特性を把握するための手法やプログラム等の収集及び共有に係る執行額 ／委託件数			単位当たりコスト		-	-	-	-
				計算式	/	-	-	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 5年度	目標最終年度 年度
	特異な才能のある子供たちの特性を把握するための多様な手法やプログラム等の情報を収集する。	情報収集が行われた手法やプログラム等の類型	成果実績		-	-	-	-	-
			目標値	類型	-	-	-	2	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	委託事業者からの報告書								
活動内容 (アクティビティ)	特異な才能のある児童生徒の指導・支援等に関する実証的な研究を実施し、実践事例を蓄積し、その横展開を図る。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	特異な才能のある児童生徒の指導・支援に関する実践事例が十分に蓄積されるよう実証研究を行う。	委託件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	-	9
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	実証研究の実施に係る執行額 ／委託件数			単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-
				計算式	/	-	-	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 年度
	特異な才能のある児童生徒の指導・支援に関する実践事例をまとめ文部科学省HP等を通じて周知する。	特異な才能のある児童生徒の指導・支援に関する実践事例を掲載するページのアクセス数	成果実績	%	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	特異な才能のある児童生徒の指導・支援に関する実践事例を掲載するページのアクセス数								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり		
		施策	2-1 確かな学力の育成	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_2-1.pdf
	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野:	-	
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		
2021		該当箇所			
事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	中央教育審議会答申等でその必要性が明記されたものであり、社会のニーズを反映している。	
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	中央教育審議会答申等でその必要性が明記され、全国の学校における支援の実現に向けた取組を行う必要があることから、国において実施すべき事業である。	
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	中央教育審議会答申等でその必要性が明記され優先度の高い事業である。	
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	企画競争等、競争性を担保して選定する予定である。	
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			
		競争性のない随意契約となったものはないか。			
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○	公募した上で有識者からなる審査会による公平な審査を経て選定を予定しており、国費の負担割合は妥当である。	
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	委託契約の締結に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、必要性について適切に確認を行う予定である。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	委託契約の締結に当たっては、事業経費の費目・用途の内容について厳正に審査するなど、資金の流れを適切に確認する。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	委託契約及び額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切に確認を行う予定である。	
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	委託費の額の確定において、費目・用途の内容を厳正に審査するなど、適切に確認を行う。		
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
関連事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
		事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	全国の学校における特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援を推進するために必要な事業であり、目標達成のために事業を着実に行う必要がある。			
	改善の方向性	事業の重要性、趣旨、目的を踏まえつつ、委託事業の採択における競争性、公平性、透明性の確保や支出経費の精査等、事業の効率的な実施に努める。			

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業目的の達成に向け、効率的な予算執行を図り、費用対効果の向上等に努めること

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【令和5年度新規事業】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



